

未年 — 拓く 未来

KIMASSI

KANAZAWA

Vol.121
January

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

2015年1月

金沢問屋センターニュース

新年のごあいさつ

平成27年の経済見通し

未年男大いに語る

第7回石川県新人学童野球選手権 兼 (協)金沢問屋センター旗争奪大会

TOPICS

うちのキラリンさん

バトンエッセー

要明英二氏・角間俊夫氏 旭日小綬章受章

事務局だより



事務局だより

INFORMATION

11月

●5日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 中間決算について

2. 組合運営委員会より

(1) 町内一斉清掃について(結果報告)

(2) キュービクル過電流継電器修繕について

3. 厚生委員会より

(1) インフルエンザ予防接種の実施について

(2) 幹部社員研修会について

(3) 金沢21世紀美術館のチケット配布について

4. 情報戦略委員会より

(1) 金沢市卸売業経営革新支援事業について

(2) 当組合ホームページについて

(3) 石川県産業創出支援機構内「よろず支援拠点」との連携について

(4) 広報誌第120号の発行について

5. 活性化委員会より

(1) 問屋町活性化プランコンペ実績報告について

(2) 作品買上補助制度について

6. 青年部会より

(1) 10月定例会について

(2) 11月定例会について

7. 事務局より

(1) 商団連グループ保険について

(2) 受賞および受章について

●16日 青年部会11月定例会(清掃及び交流会)

参加総数105名(内青年部会10名)

●25日 ホームページセミナー 11社16名参加

(2) 石川県産業創出支援機構内「よろず支援拠点」との連携について

(3) 広報誌第121号の発行について

5. 活性化委員会より

(1) 問屋まちスタジオ使用貸借契約更新について

(2) 問屋まちスタジオの改修について

(3) 問屋まちアートパーク[mu-ku]展示作品の買取制度について

6. 青年部会より

(1) 11月定例会(清掃及び社員交流会)結果報告

7. 事務局より

(1) 事務局の年末年始について

(2) 伊藤理事長の「中小企業庁長官賞」受賞について

●11日 幹部社員研修会 18社39名参加

●11日 インフルエンザ予防接種 193名接種



新たに始まったインフルエンザ予防接種の補助事業に400名以上の申し込みがあった。

●19日 IT導入成功事例セミナー 10社12名参加

旭日小綬章受章



石川トヨペット株式会社
会長兼最高経営責任者(CEO)
要明 英二氏

石川県自動車販売店協会長、県自動車
会議所会長をはじめ、県交通安全協会
会長など多くの要職につき、業界の発展
に寄与した。

旭日小綬章受章



カナカン株式会社
取締役特別顧問
角間 俊夫氏

県法人会連合会会長などの要職にあり、
納税意識の普及に貢献した。

編集後記

仕事がうまくいかない時は、逆のやり方をすればいいと頭を切り替えて取り組むことを心がけている。逆の発想、行動には宝の山がある。そんな教えをどこかで聞いたことがあるからだ。年末の衆院解散、総選挙にも、どこかにそういう発想があったのかもしれない。

この年末の忙しい時期。庶民の暮らしには一向に明るい兆しが見えないし、経済の状態も思わしくない。そんな中での選挙は適切でない、多くの人が感じたであろう。安倍首相の「みんなの思いをつかいないことをやる」先にある宝の山とはいったいなんだろうか。政権をがちり維持することが最重要だと考えているとしか思えない。国民生活なんてそっちのけの感が、解散を「適切だとは思わない」との世論調査結果にはっきりと表れていたのではないだろうか。

国会議員定数削減はじめ子育て支援、高齢者対策など、国民が取り組んでほしいと訴えていることは遅々として進まない。反対に、この解散以外にも国民が望まない増税などは選挙の審判を経なくてももどんどん進められている。突然の師走の総選挙を終えて思うのは、政党の垣根をこえて、もっと国民と同じ目線でいられる人たちに政権を担ってもらいたいということだ。(T. K)

憂国の書



株式会社アルプ企画
常務取締役
高間 俊成

問屋センターの皆様には日頃からお世話になり誠にありがとうございます。年末に「年男大いに語る」の原稿依頼が事務局方からありました。歴代の原稿を読ませていただいたところ、立派な文章でまとめられているため正直困りましたが、この48歳の年頭に向けて思考をリフレッシュするいい機会だと思い受けさせていただきました。

国家の政は皆大臣に総べらる。大臣勤励にして賢材ならば、百弊皆除かる。何ぞ各曹相軋るを患へん。然れども略ぼ今時の弊を陳べんに、学官曰く、「人材は宜しく文武の人を用ふべし」と。政府は乃ち其の親故を用ふ。民官曰く、「堤防池沢は民事の急なり。宜しく官金を捐てて以て之れを修築すべし」と。兵官曰く、「船艦砲銃は兵備の重なり。宜しく公帑を捐てて以て之れを造鑄すべし」と。材官は乃ち金穀常計あるを以て、並びに其の議を阻格す。政府の令出でて行はれざるも、目付必ずしも糾弾せざる

なり。諸々の頭或いは議する所あるも、政府必ずしも聴納せざるなり。大抵一曹事を立つるや、他曹之れを阻み、一人議を建するや、衆人之れを廢す。未だ費て費々として裏成するものあらざるなり

石川県新人学童野球選手権
兼(協)金沢問屋センター旗
争奪大会
第7回
加賀学童野球
クラブ優勝！
クラブ優勝！

米年



男大いに語る

地方経済の活性



株式会社オータニ
常務取締役
大谷 方人

新年明けましておめでとうございませう。組合員企業の皆様には日頃よりお世話になりありがとうございます。さて、昭和42年生まれ組は大学を卒業していた頃、就職も売り手市場でした。しかし2〜3年後、ようやく仕事というものを覚えかけた頃にパブルの崩壊が訪れました。その数年後、金沢に戻り現在の会社に入ってから「失われた20年」といわれる経済の後退環境のなか仕事をしました。しかし本年は金沢の地域経

済にとつて、千載一遇のチャンスが訪れようとしております。昭和42年に北回り新幹線建設促進同盟会が結成、昭和58年に北陸新幹線建設促進石川県民会議の結成などを経て、平成17年に富山ー白山総合車両所までのフル規格での整備が許可着工となりました。そしていよいよ本年3月14日、北陸新幹線の東京ー金沢間が開業し、多くの人がこの地域にやってくることとなります。人口3400〜3700万人の首都圏と約2時間30分で結ぶのです。交流人口が増え消費が拡大、この地域の経済が活性化し、観光業に携わる企業だけではなく2次の3次のな経済波及効果が予想されています。また、本年3月より地元サッカー

チームのツエーゲン金沢がJ2リーグで戦いを繰り広げることとなりました。今年こそは「今年もダメか」「やはり無理だろう」という状況が何年も続いていましたが、昨年J3初代チャンピオンに輝き、見事昇格を果たしたのです。身近なスタジアムでプロのサッカー観戦ができるのです。こちらも対戦相手のサポートが各地よりやってくることとなり、交流人口の拡大に伴い大きな経済効果をもたらすことになるでしょう。平成27年のラッキーカラーは金緑、黄だそうす。皆様、ラッキーを掴み良い年にいたしましょう！本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成26年11月3日(月、祝)と8日(土)、9日(日)の3日をかけて、金沢市内川少年野球場を主会場に、県内の支部大会を勝ち抜いた16チームが熱戦を繰り広げました。優勝は加賀学童野球クラブで、5年ぶり2度目の栄冠に輝きました。中条ブルーインパルスとの決勝戦では先制するも猛攻にあつて一時逆転を許しましたが、その後小刻みに得点を重ねて再び逆転し、そのまま8ー5で逃げ切つての勝利となりました。開会式及び閉会式では、連盟から当組合に対して感謝のお言葉を頂戴しました。今年は大変に恵まれず順延しての開催となり、選手や保護者の皆様はもちろんどご尽力頂きました関係者の皆様に感謝いたします。

加賀学童野球クラブの皆さん、おめでとうございます！

TOPICS 01

金沢21世紀美術館の展覧会チケットを配布します



このたび当組合は、金沢21世紀美術館のサステインメンバーに加入し、主催展覧会の招待券をいただけることになりました。組合員企業にお勧めの皆さんに配布いたしますので、ご希望の方は組合事務局までお越しください。配布中のチケットの情報など、詳しくは協同組合金沢問屋センターのFacebookページまで。

TOPICS 02

快適さがアップ
金沢流通会館の空調設備リニューアル完了！

昨年10月から進めてきた流通会館の空調設備リニューアル工事が無事終了しました。大ホールの空調能力が上がり、小ホールや各種会議室では温度設定が可能になりました。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

うちのキラリンさん



問屋町にお勤めの元気な社員の方をご紹介します
成長できる仕事に感謝
小川株式会社 黒崎 夏未さん

ごはんを食べることが趣味、作るのも！友人とのランチが一番のストレス発散です。最近は家族と行く機会も増えました。ただ今、料理を勉強中で煮物が得意です。誰か任力鍋を買ってください。

営業兼事務として入社して半年、配属されたファッション事業部はチームワークがすごい！部長が熱心に指導してください、自分に不足していた「自分で考える力」を補っているんだという実感があります。今はまだ事務処理のお手伝いが中心ですが、事務においても大切なことがあり、基礎をしっかり身につけてお客様の前に出ることが大事だと教わりました。扱う商品は宝石やプラタポルテ、バッグなど私たちの世代には手の届かない高価なものばかりで、勉強しておかないと自信がなくてすめられません。衣料品の仕入れにも同行させてもらいましたが、先輩たちはお客様を思い浮かべながら商品を選んでいました。私も早くお客様の顔を覚えなければ、仕事をするうえで大切なのは感謝の気持ち。「ありがとうございます」という言葉は声に出さないと伝わらないし、お客様の気持ちになった自分なりのひと言をプラスすることが大事だと思っています。

バタマンマッセー vol.19

金沢マラソンへの期待



富木医療器株式会社
代表取締役社長
富木 隆夫

多分ランニングなどに興味のない方には、なぜあのように大挙してマラソンで走ったり、ましてやそれが市長選での選挙公約にまでなるのか、理解しがたいのではないだろうか。国内でこの都市型マラソンのブームに火をつけた東京マラソンを例にとると、2007年に始まり参加ランナーは3万5千人にもなります。応募者はなんとその10倍を超える30万人以上が申し込み、そこから抽選という狭き門を潜り抜けたうえで出場です。それに続けと大阪、神戸、京都、名古屋などでも開催され、いずれも大変な人気になっています。実は私も、出張で泊まる東京での早朝ランの爽快さを通じて東京マラソンに興味があき、初回から応募し続けてきました。2013年、7回目にして初めて抽選を通り、この一大スポーツイベントに参加しました。

参加した印象はどうだったかというと、なにせランナーだけで3万5千人ですからコース上は人の波ですし、スタート前やゴール後は人が留まって大渋滞となり、人ごみに慣れない田舎者にはマラソン以上に気疲れする部分です。これだけの人を動かすイベントの運営は大変だなと思う一方、参加中の高揚感は今風のお祭りだと感じました。ランナーも様々な装いをしてエンジョイしていますし、応援する側も様々なパフォーマンスで盛り上げることをエンジョイしています。スポーツ選手でもない限り、普段の生活の中でこんな声援を浴び続けることはなかなかないことなのです。地域ぐるみ、企業ぐるみの応援パフォーマンスが東京マラソンの人気の秘密かなと感じました。

11月の金沢マラソンでスムーズな運営と応援側のムード作りがうまくできれば、全国からの参加ランナーの満足と金沢の魅力アップにつながります。決して安くはない応援者を含めた交通費・滞在費を払ってでも毎年参加したい大会になれば、将来的な定住者増加につながり、地域の経済に必ずやメリットを生むものとなります。風が吹けば桶屋が儲かるという話ですが、あり得ない話ではないと感じています。